

## 平成29年度 行政評価シート

### 1 総合計画上の位置付け

基本目標	すくすくと子どもが育ち、誰もが健やかに暮らせるまちを目指します
基本政策	互いに支え合う福祉の推進
施策	互いに支え合う地域福祉の充実
展開施策	高齢者の生きがいづくりと支え合う地域福祉の推進
概要	誰もが支え合い安心して暮らすことのできる地域福祉を推進するため、高齢者同士はもとより、高齢者の知恵や経験を生かした世代間交流により高齢者の社会参加や生きがいづくりを進めるとともに、福祉に関わる人材の育成のほか、様々な主体の連携を図ります。

### 2 成果指標及び評価指標

	単位	基準値	実績値				達成率	目標値	
			H28	H29	H30	H31		H31	H39
成果指標	互いに助け合いながら暮らしていると感じている市民の割合	%	43.5 (H27)	43.5 (H27)			88.8%	49	60
	前期高齢者のうち、要介護1以上の認定を受けている高齢者の割合	%	3.41 (H27)	5.33 (H28)			64.0%	3.41以下	3.41以下
評価指標	高齢者ボランティア数	人	327 (H26)	388 (H27)			80.2%	484	—
	高齢者の生きがいづくり事業参加者数	人	9,156 (H27)	8,653 (H28)			91.1%	9,500	—
	交流施設利用者数	人	233,948 (H26)	231,566 (H27)			89.0%	260,184	—
	地域福祉活動の担い手養成人数	人	173 (H26)	158 (H27)			77.1%	205	—

### 3 対象事業の概要

事業名	ファミリーサポートセンター等運営費	所管部局	福祉保険部介護高齢課
目的及び内容	地域での相互援助活動の推進を図るため、地域において除雪や介護等の援助を行える者と受けたい者とを組織化・調整し、高齢者、母子、身体障害者等世帯への除雪や高齢者等の介護などを実施する。		
実施根拠	旭川市地域支え合い事業福祉除雪サービス事業実施要綱、旭川市地域支え合い事業ファミリーサポートセンター介護型実施要綱		
開始時期	平成15年度		
利用対象者	(ファミリーサポートセンター介護型) 依頼会員：市内に軽介護や援助の必要な高齢者等がいる労働者等 提供会員：市内在住で、20歳以上の心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができる者(福祉除雪サービス) 依頼会員：自力又は市内の扶養義務者による除雪が困難なおおむね75歳以上の高齢者世帯等 提供会員：市内在住で、除雪の援助活動ができる者		
効果 (できるだけ具体的かつ数値を用いて)	地域の相互援助活動を支援することにより、高齢者等が安心して暮らせる市民生活の実現に寄与した。 H28ファミサポ介護型活動延べ日数:2,685日 福祉除雪実施回数:4,437回		
運営方法 (施設の場合)	<input type="checkbox"/> 直営	(平成29年度の職員体制) 正職員 人, 臨時職員 人, 嘱託職員 人	
	<input type="checkbox"/> 指定管理又は委託	(委託等の内容) (平成29年度の職員体制) 正職員 人, 臨時職員 人	
料金制度	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 手数料 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(利用料)		
減免制度			
類似施設(事業) (民間の施設(事業)を含む)	シルバー人材センターによる人材派遣		
類似施設(事業)との違い	利用料等に大きな違いはないが、シルバー人材センターによる事業は高齢者の雇用創出という側面が強く、提供会員に当たる受注者側にも年会費の支払があるなど、地域での相互援助活動の推進を図る当事業とは目的が異なっている。		

※施設が複数個所に及ぶ場合は別に資料を作成してください。

4 対象事業の運営状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

年度		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考	
内訳		(決算)	(決算)	(決算見込)	(予算)		
収入							
	合計(A)	0	0	0	0		
支出	事業費	7,378	7,417	7,384	7,380		
	委託料	7,378	7,417	7,384	7,380		
	人件費	737	718	712	725		
	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
	正職員	金額	737	718	712	725	
	以外	人工					
以外	金額						
合計(B)		8,115	8,135	8,096	8,105		
差引(合計(A)-合計(B))			-8,115	-8,135	-8,096	-8,105	

※人件費(正職員分)は、平成26年度7,374千円、平成27年度は7,183千円、平成28年度7,122千円、平成29年度7,247千円で計算すること。

(2) 利用状況

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考
年度末現在の状況	(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)	
福祉除雪サービス 依頼会員数(人)	363	333	311	336	
福祉除雪サービス 提供会員数(人)	358	394	391	381	
ファミリーサポートセンター介護型 依頼会員数(人)	470	498	539	502	
ファミリーサポートセンター介護型 提供会員数(人)	484	525	560	523	

(3) 見直し、改善等の経過

年度	内容
平成19年度	福祉除雪サービスのサービス提供地域を市内全域に拡大した。

## 5 事業の課題

両事業とも提供会員数が依頼会員数を上回ってはいるが、登録していても実際には活動できない会員もおり、特に福祉除雪の提供会員は不足傾向にあるため、広報等による更なる周知を図り、提供会員の安定的な確保を図る必要がある。

## 6 取組に係る他市の状況

市名	状況
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い有償ボランティア事業(札幌市補助事業, 実施主体: 札幌市社会福祉協議会) 援助内容に応じた料金(例: 家事援助=1時間800円+交通費実費)のほか, 会員登録時に年会費(1,200円)が必要</li> <li>・福祉除雪(札幌市補助事業, 実施主体: 札幌市社会福祉協議会) 世帯の課税状況区分により, 一冬あたりの負担金が必要(非課税世帯: 5,000円, 課税世帯: 10,000円など)</li> </ul>
函館市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミサポ介護型は対象事業無し(育児型のみ実施)</li> <li>・除排雪サービス 除排雪に係る労力等の確保が困難な高齢者等世帯を対象に, 生活路の確保を無料で実施</li> </ul>
中核市	別紙(H28. 7大分市照会回答取りまとめ) 中核市47市中, 事業有り11市, 事業無し25市, 不明(未回答)11市

※取組に係る他市の状況について、札幌、函館及び他の中核市の状況を記入してください。他市の状況をまとめたものがあれば、別途添付してください。

## 7 評価等の結果

	評価区分	理由等
1次評価 (所管部局)	A	今後ますます高齢化が進み、依頼会員の増加が見込まれるため、地域の支え合いによる相互援助活動(共助)によりサービス提供を行う支援事業は、継続実施が求められる。
行財政改革推進委員会の答申	A	今後の高齢化の進展や本市の財政状況を考えると、地域の支え合いによる相互援助活動は重要であることから、更なる事業の充実に努める必要がある。
2次評価 (行政評価検討会議)	A	今後の高齢化の進展や本市の財政状況を考えると、地域の支え合いによる相互援助活動は重要であることから、効果的な事業となるよう充実に努めること。

評価区分 A(予定どおり推進), B(見直し), C(取組中止)